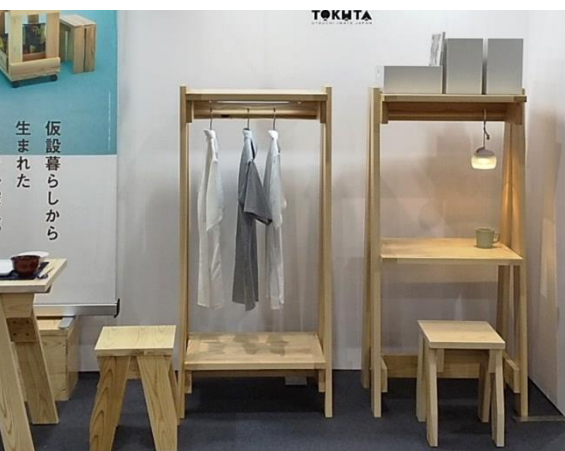


釜石・大槌産杉材を活用した 家具開発支援

—株式会社TOKUTA（大槌町）の復興支援—

産業デザイン部 ○有賀康弘 実施期間 H30～



1 はじめに (釜石市・大槌町の杉材)

杉は日本特産の代表的な樹種 やわらかな感触が魅力のひとつ
一方、家具に使われることが敬遠されてきた

- 森林面積 釜石・大槌の面積に占める割合89% (民有林人工林4割)
- 素材生産量 (29,828m³) の約90% がスギ、アカマツ等の針葉樹
建築用材、チップ等への利用がほとんど (H30「岩手県林業の指標」)
(県全体でも針葉樹の家具・建具用材は、わずか2,000m³)
- 大槌町産材 (気乾) の密度は他地方産の杉と比較して高い傾向
(秋田県立大学ウェブジャーナル2018/岩手県大槌町産スギの成長と材質)
- 戦後造林された人工林を中心に本格的な利用期を迎えている
- 価格の長期低迷→製品開発、乾燥など高付加価値化が望まれる (収益増)
- 資源の「伐って、使って、植える」循環利用
→循環型社会の形成、地域経済の活性化に期待



1 はじめに

- 大槌町のとくた家具店が実家であった徳田氏は、東日本大震災からの地域復興のため地域経済の一助になることを目指し、
- 家具製造のため起業し、木工工場を新設（H29）



1 はじめに

株式会社 TOKUTA

- 代表取締役 徳田 俊美
- 大槌町



木工場外観（販売店舗併設）

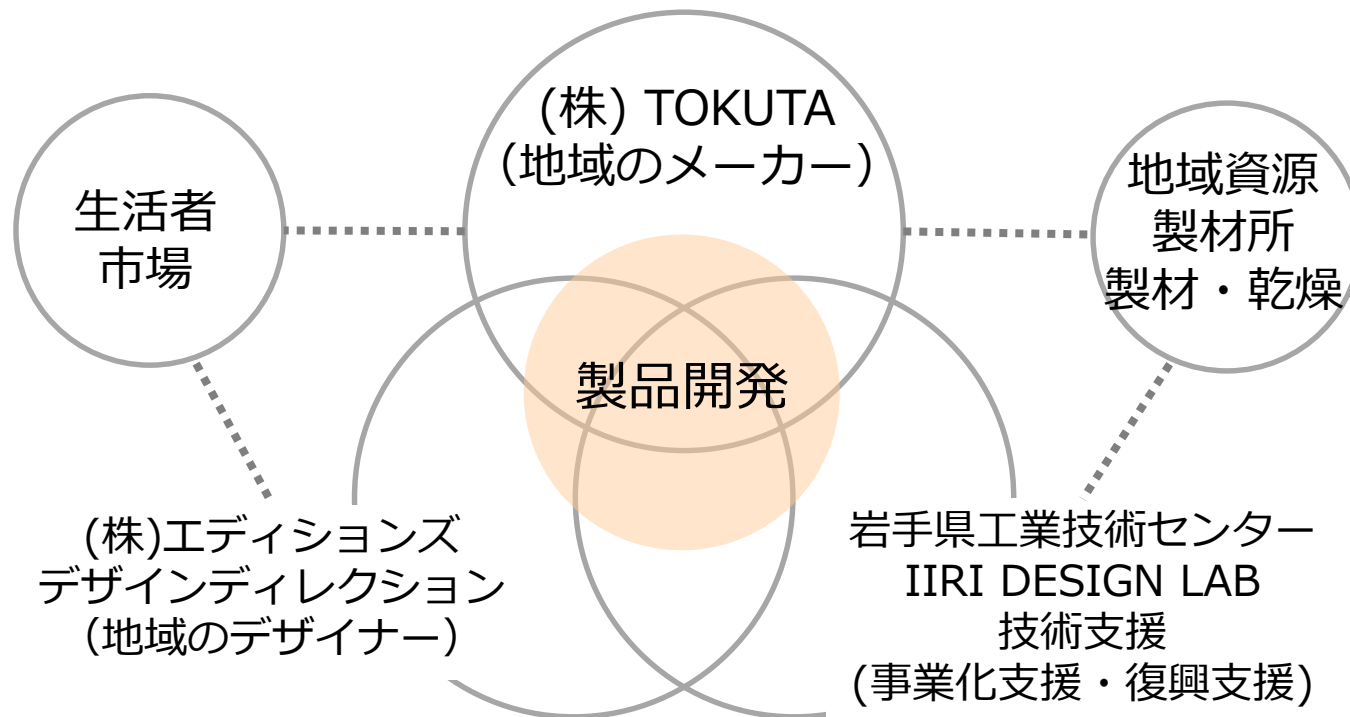


木工場内

2 製品開発

(地域産杉材を活用した家具開発の連携)

- 魅力ある製品のデザイン企画、試作、製造技術、販路開拓
- 伐採から加工まで地域内で経済を循環する仕組み
(地域の製材所で製材・乾燥、同地域内の木工所で加工)
- 製品開発と商品化を通じて製材所や他の事業所との連携



2 製品開発

(株式会社TOKUTAのテーマ)

針葉樹を中心とする地域産木材を活用する 家具、木工品の製品開発

- ① 地域産杉材を活用した**仮設住宅**等での利用、利便を想定した小家具
- ② 地域の山林より発生する広葉樹を活用するデスクウェア等の小木工品

2 製品開発 (製品のテーマと仕様)

8年間に及ぶ仮設暮らしの経験から生まれた、限られたスペースのなかで少しでも快適に暮らすことを考えた、ミニマル家具

※【ミニマル】最小限であるさま

- コンパクトで移動が簡単・多目的に使えること
- ミニマルなライフスタイル、アウトドアなどにも有効

女性一人でも移動できる軽さ
場所を選ばない大きさ・自由なレイアウト

- 心を和ませる杉の美しい風合い

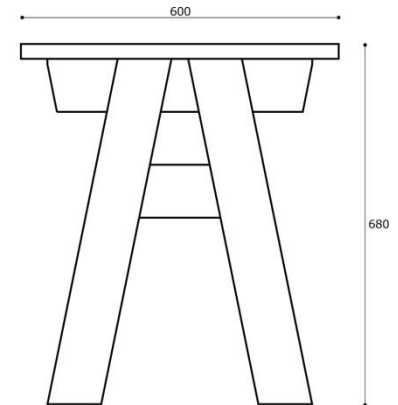
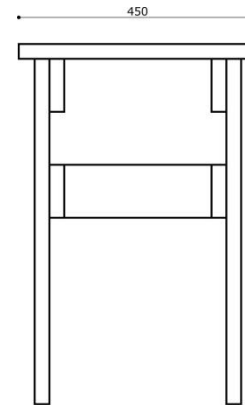
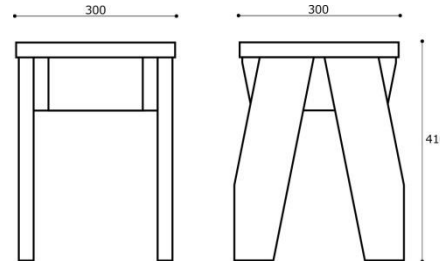
国産の無垢杉材を贅沢に使用
白木仕上げで自然の木目を楽しめる
食品衛生法に適合した水性塗料使用

- 大槌の小さな家具工房の手づくり

3 製品開発

ミニマルダイニングセットA

※一人あたりの最低面積は、巾40cm×奥行30cm



価格58,500円



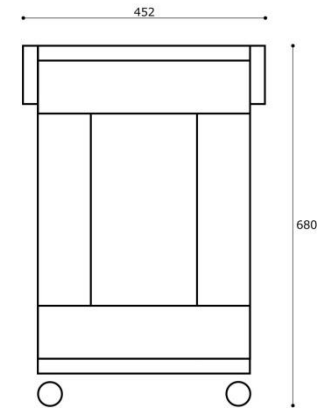
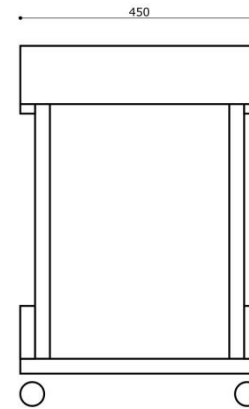
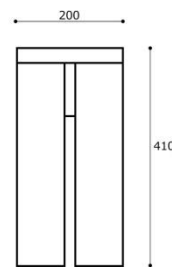
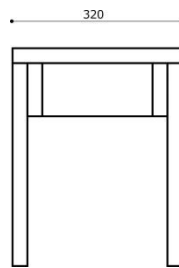
地方独立行政法人 岩手県工業技術センター

Iwate Industrial Research Institute

3 製品開発

ミニマルダイニングセットB

テーブルの広さ 巾45cm×奥行45cm (60cm伸長)



価格68,500円



地方独立行政法人 岩手県工業技術センター

Iwate Industrial Research Institute

3 商品開発

コピーA

必要なのは2膳分のスペースでした。

コピーB

仮設暮らしから生まれたミニマル家具。


ミニマルライフ向け家具

式・膳
N I I Z E N
FOR BETTER LIFE WITH MINIMAL STYLE



4 商品開発

事業化支援

平成31年1月 商品完成  展示会で発表

展示会出展、販売促進に対して支援

- ① 販促コンテンツ用商品写真撮影（外部委託）
- ② リーフレット、パネル製作（外部委託）
- ③ 展示会出展

4 商品開発 事業化支援（写真撮影）

商品写真



ダイニングセットA



4 商品開発 事業化支援 (写真撮影)

商品写真



ダイニングセットB



4 商品開発

事業化支援（リーフレット、パネル）

リーフレット（委託先 株式会社エディシオンズ）



4 商品開発

事業化支援（展示会出展）

日本各地と東京都が連携した木材製品展示会



WOOD コレクション 2019

招待券

国産材が育む日本の未来

東京をはじめ、日本各地の地域材を活用した
建材や家具などの木材製品展示会です。
東京での木材利用の拡大を目指し、
高い技術を駆使した魅力的な木材製品を多数揃え、
皆様のご来場をお待ちしております。



入場無料

会期 **2019 1 | 29 火 30 水** 10:00~17:30
(30日10:00~16:30)

会場 **東京ビッグサイト 東7・8ホール** [東京都江東区有明3-10-1]

詳細はこちら www.mokucolle.com/ | [モクコレ2019](http://www.mokucolle.com/)

【主催】WOODコレクション(モクコレ)2019実行委員会
 【後援】林野庁、(一社)全国木材組合連合会、全国森林組合連合会、(公社)国土緑化推進機構、日本経済新聞社
 【出展都道府県】北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、徳島県、愛媛県、高知県、福岡県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
 【お問い合わせ先】WOODコレクション(モクコレ)2019運営事務局 wood@nikkei.co.jp

モクコレ リーフレット

Iwate Industrial Research Institute

PRESS RELEASE 技術で復興を
お手伝いします 2019.1.25 (H30-028)
地方独立行政法人岩手県工業技術センター

**(株)TOKUTA(大槌町)が
WOODコレクション(モクコレ)2019で新商品を発表します!**

岩手県工業技術センター（理事長 木村卓也）では、東日本大震災津波並びに平成28年台風10号により被災し、生産活動に支障が生じている企業等の技術支援を目的に「生産等安定化支援事業」に取り組んでおります。

この度、本事業で支援を行っている(株)TOKUTA（大槌町）が、新商品「仮設暮らしから生まれた小さな家具「武膳 NIZEN」」の展示発表を、モクコレ2019会場で行いますので、お知らせいたします。

【武膳 NIZEN について】
空間の限られる仮設住宅での小さな理想は、テーブルと椅子のある生活。コンパクトだけでなく、動線を確保するため移動が簡単であることや多目的に使えることなど「多様性」が重要。
「武膳 NIZEN」は、幅40cm、奥行き30cmを1人分スペースとして、2人分の一汁三菜と飲み物、お箸が置けるスペースを基本に設計。セットA・Bともにテーブルの下に椅子がすっぽり収まり、使わない時にはよりコンパクトに。ワゴンタイプのセットBは、入れ子のようにワゴン内に椅子を取納でき移動も容易。一般の住宅や、ミニマルな暮らしを望む方にも便利にお使いいただけます。

【(株)TOKUTAについて】
津波で家族と、家業であった家具店を失った徳田俊美氏が、地域の復興に貢献したいという思いから、地域の木材を使った家具製造に取り組んでいます。
○住所 岩手県上閉伊郡大槌町大槌第15地割95-274
○電話 0193-27-7711 ○FAX 0193-27-7712

【WOODコレクション(モクコレ) 2019について】
日本各地の地域材を活用した建材や家具などの木材製品展示会。国産木材の価値を見出し、今後の木材産業発展に向け、日本全国の木材製品・技術の展示・商談機会を提供する。
○日時 2019年1月29日(火)、30日(水) 10:00~17:30 ※30日は16:30まで
○場所 東京ビッグサイト 東7・8ホール(東京都江東区有明3-10-1)
○主催 WOODコレクション(モクコレ) 2019実行委員会

※ ご不明な点がございましたら、電話またはメールにてお問い合わせください。
地方独立行政法人岩手県工業技術センター
<http://www2.pref.iwate.jp/~kiri/>
〒020-0857 岩手県盛岡市北藤岡2-4-25 TEL:019-635-1115 FAX:019-635-0311
E-mail: CD0002@pref.iwate.jp
担当: デザイン部 有賀 康弘、菊池 仁
※生産等安定化支援事業についての問い合わせ先:企画支援部 茨島 明




工技センター プレスリリース

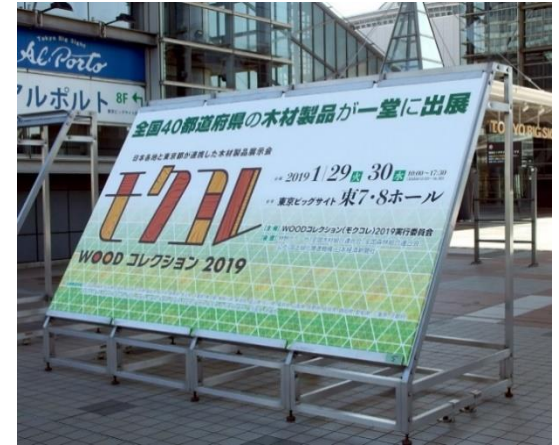
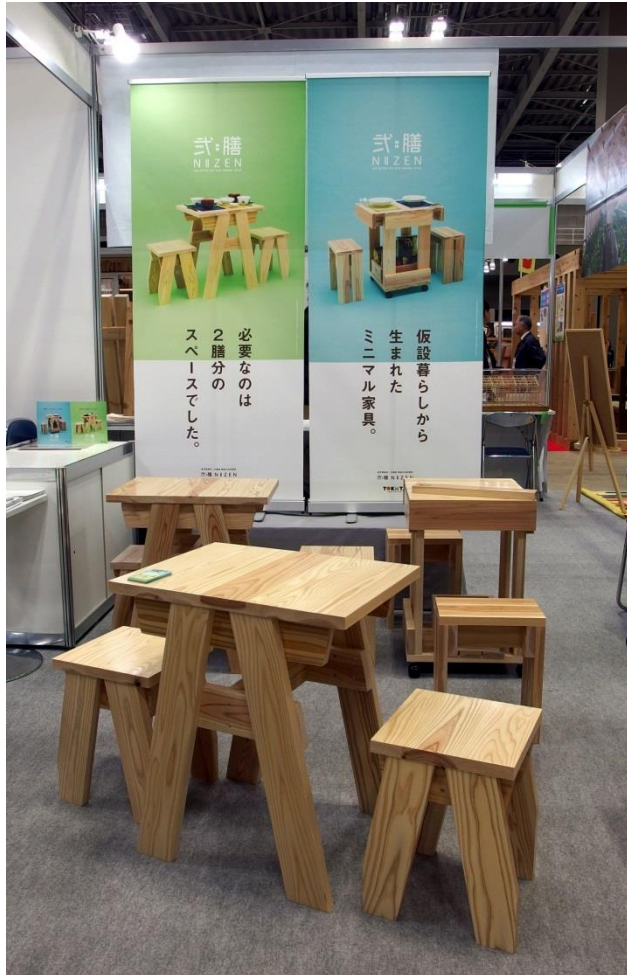


地方独立行政法人 岩手県工業技術センター

Iwate Industrial Research Institute

4 商品開発

事業化支援（展示会出展）



WOODコレクション2019
(東京、平成31年1月29日、30日)



5 商品開発 その後

- 自社HP「食卓の道具TOKUTA」において販売
 - 売上げの向上のため、展示会出展など販売の機会を増やす。
- 商品のブラッシュアップ
 - 商品開発を継続する。
 - 技術的にテーブル、イスのような脚物家具の製作技術に加えて、収納家具の製作技術を備え、広く木製品を製造できるメーカーをめざす。
- 外部資金獲得（さんりく基金助成金等）

6 商品展開 生産性向上等支援（展開と発展）

- ✓ TOKUTAブランドの展開
- ✓ 仮設暮らしから生まれたミニマル家具の展開として、狭小住宅にも対応できる衣類用収納家具
- ✓ 釜石・大槌産杉材を使用したコンパクトなハンガーラックの開発と製造技術の安定化や工程を確立したい

7 商品展開 生産性向上等支援（展開と発展）

- ① ミニマル家具のデザイン手法。ダイニング家具「弐膳 NIZEN」のイメージを踏襲したスタイリングの創案と杉材を使用する家具設計、細部造型処理
- ② 省力化と加工工程簡素化のための緊結金具の選択
- ③ デスク甲板の製作法と家具用金具の選定
- ④ 生産性向上と精度向上を目的とする治工具の利用
- ⑤ 手動油圧ジャッキを利用した組み立て機の製作方法
- ⑥ 杉材の含水率の把握と欠点発生を抑止・材料保管方法
- ⑦ 加工機械（自動一面鉋盤）の精度維持と調製法

7 商品展開 生産性向上等支援（製品試作）



スタディモデル（10分の1）

ひとり分の1週間のコーディネートを準備できる
棚板を付け替えてひとり用のフリーデスクとしても使える
二つの機能を持ったミニマル家具

7 商品展開 生産性向上等支援（製品試作）



プロトタイプを検討



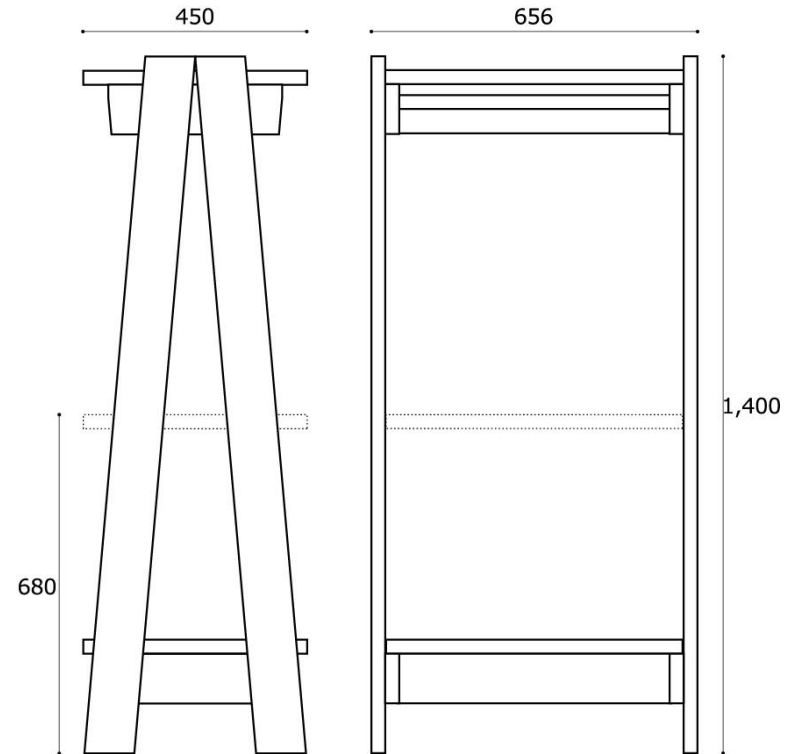
7 商品展開 生産性向上等支援 (商品)



ハンガーラックスタイル



フリーデスクスタイル



価格70,000円



7 商品展開 生産性向上等支援（商品）



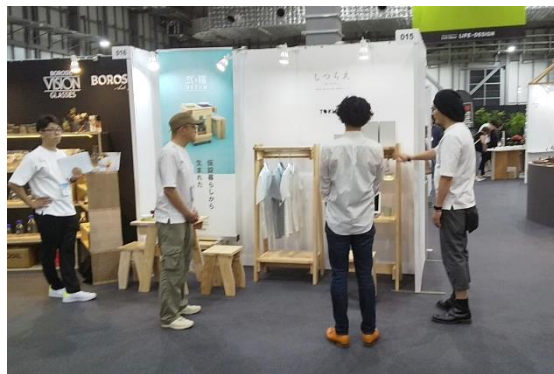
災害時に、ミニマルな暮らしに。
仮設暮らしから生まれた小さな家具。

「しつらえ」
SHITSURAE

7 商品展開 (TOKUTAブランド)



丸善 木の匠展
(東京、令和2年1月)



東京インターナショナルギフトショー
(東京、令和元年9月)

7 商品展開 (TOKUTAブランド)



仮設暮らしから
生まれた
ミニマル家具。

狭小住宅の中で快適な生活を過ごすための
知恵から生まれた小さな家具シリーズ。

2011年3月11日に発生した東日本大震災を岩手県大槌町で
経験し、8年間に及ぶ仮設住宅暮らしを余念なくされました。仮設
住宅は、家族3人で4畳半2間という狭さ。限られたスペースの
なかで少しでも快適に暮らしたいと思い自作したテーブルワゴンが、
このミニマル家具シリーズの出発点でした。仮設住宅での生活から、
限られたスペースのなかで少しでも快適に暮らすためには、コンパクト
だけでなく動線も確保するため移動が簡単であることや、多目
的に使えることなど「多様性」が重要であることを学びました。
大きな災害が発生する日本。今後さまざまな災害で不自由な
仮設住宅暮らしを経験される方がいらっしゃるかもしれません。そ
んな時、この家具を活用していただけたら。また、ふと災害や被災
者に思いを馳せるきっかけにでもえたらならば、そんな思いをこ
の商品に込めています。

ミニマルライフスタイルに
マッチするシンプルなデザイン



狭小住宅に限らず、限られたスペースのなかでも、
快適に暮らすためのミニマルサイズの家具
であること、コンパクトに収納できる動線の
確保も念頭にいた。そして、シンプルで美しい
デザインであることを意識して制作しました。

8年間の仮設住宅での暮らしの経験を
ミニマルライフスタイルの提案に。

狭小住宅で暮らす上で
重要視される機能性



狭小住宅での家具選びはコンパクトだけでなく、
動きやすさや収納力も重要なポイント。毎朝
家事が帰って広い扉を開けたら思いが
かたに狭い扉を開けて奥まで奥まで奥まで
多機能が必要で。このシリーズでは、ミ
ニマルサイズながらも、奥行きがよ
うな機能を実現しています。



本物の無垢の木材を使い、
使い捨てではない家具であること

材料は、産地、天候などの自然条件を
考慮し、自然素材の木材を使用。自然の恵みを
受け継ぐ木材を使用しています。本物の心も
たかみのある木材は、心もほぐれさせて
くれるように大切に扱っています。



仮設暮らしから
生まれた
ミニマル家具
シリーズ
1
ニゼン
NIZEN

「仮設 NIZEN」は、幅 40cm、奥行き 30cm x 1人から2人
と、2人から3人まで利用可能。お昼食や軽食のスペースを基本
に設計。セトル・Bとセトルの下に椅子が収納でき、
使わない時はコンパクトに。フックタイプのセトルは、入れ
子によるコンパクト化も可能。移動も簡単。お昼食・軽食の
際でも、コンパクトな家具が活躍する場所が広がります。

「仮設 NIZEN」ミニマルダイニングセット A (テーブル・チェア・2) MDA
サイズ: W400xD400xH800 シリズ: SHITSUKAAR
テーブルの裏面に椅子が収納可能。コンパクトに収納可能。



仮設暮らしから
生まれた
ミニマル家具
シリーズ
2
しつらえ
SHITSUKAAR

狭小住宅に活用できる移動型収納家具「しつらえ SHITSUKAAR」は、
ひとひとの1個のコーディネートを準備できるハンガーラックと、
棚板を移動することで2つのフックとしても使える機能をも
たせました。用途は、棚板の上下にはお気に入りの洋服やま
なごの収納にも活用しています。フックラックとして使用する際は、
13インチのノートパソコンやタブレットが収納されるスペースがあり、
木のフレームで覆われている側面のため、仕事や勉強に集中しやすい
環境が保たれます。

「仮設 NIZEN」ミニマルダイニングセット B (テーブル・チェア・2) MDA
サイズ: W400xD400xH800 シリズ: SHITSUKAAR
棚板がフックタイプで移動可能。お昼食・軽食や勉強スペースとして活用可
うです。



「しつらえ SHITSUKAAR」ハンガーラック SETLE
1 棚板の移動も簡単。お昼食・軽食スペース。
2 フックタイプ 4個付
幅: 40cm x 奥行き: 100cm
脚子サイズ: W400xD400xH1000



フリーデスク SETLE
天板は1個取り可能な2段階の高さ調整。
調整可能な高さ: 700mm x 800mm
幅: 400mm x 奥行き: 1000mm

仮設暮らしから
生まれた
ミニマル家具
シリーズ
3
totonoe
整重

仮設住宅で暮らした経験を活かした収納家具「totonoe 整重」。
スツールも収納できることで、様々な用途で活用することが
できる家具が本物の暮らしに役立ててくれるはず。



岩手県大槌市 製造所 TOKUTA 025-1131 岩手県上閉伊郡大槌町大槌15 10 10 10 05-274 TEL. 0193-27-7711 FAX. 0193-27-7712 <https://tokuta.tech/>

<https://tokuta.tech/>



地方独立行政法人 岩手県工業技術センター

wate industrial Research Institute

ありがとうございました。

